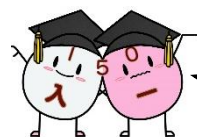


研究主題

児童を中心としたカリキュラム・マネジメント
～自由進度学習の可能性を探る～

マイプラン・タイム（2教科2単元）
第6学年 体育科・外国語科学習指導案



本校では単元内自由進度学習を
『マイプラン・タイム』と呼んで
いるよ。

実施期間：令和7年1月16日～1月30日

対 象：第6学年 79名

場 所：体育館・外国語ルーム

授 業 者：清水信昭 村山友明

- 1 題材名・単元名 **体育科** 「体づくり運動（体力を高める運動）」（6時間）
外国語科 「Lesson6 I want to be a singer.」（Crown jr. 6）（6時間）

2 題材・単元の目標

体育科

体づくり運動の行い方を知り、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 【知識及び技能】

課題解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自分の体力を高めたりすることができるよう、積極的に取り組もうとしている。また、自分で学習の計画を立て、運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配っている。 【学びに向かう力、人間性等】

外国語科

将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 【知識及び技能】

将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 【思考力、判断力、表現力】

自分で学習の計画を立て、他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
体育科	体力を高める運動では、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動のねらいに合った動きができる。	体ほぐしの運動のねらいを知るとともに、ねらいに応じた運動の行い方を選んでいる。 体力を高める運動のねらいや行い方を知るとともに自分の体力に合った運動の行い方を選んでいる。	体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自分の体力に応じて体力を高めたりすることができるよう体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 約束を守り、仲間と助け合って運動をしようとしている。 用具の準備や後片付けで、分担

			<p>された役割を果たそうとしている。</p> <p>運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</p>
外国語科	<p>将来の夢を伝える語句や表現の意味や働きを理解している。</p> <p>将来の夢について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>友達と応援し合うために、将来の夢について、質問したり答えたりして会話を続けている。</p>	<p>友達と応援し合うために、将来の夢について、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。</p> <p>自分の力が伸びたかどうかを自覚し、なぜ伸びたかを認識している。</p>

4 指導観

(1) 単元観

体育科 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

体育科〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容

A 体づくり運動

体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすること。
 - ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わりあったりすること。
 - イ 体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。
- (2) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

「体づくり運動」は「ア 体ほぐしの運動」と「イ 体力を高める運動」の二つの内容から成る。「体力を高める運動」は、自己の体力や体の状態に応じて、体力の高め方を工夫することができ、「体の柔らかさ、巧みな動きを高めるための運動」と「力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動」から構成されている。体力テストなどを利用して、自己の体力の特徴を把握し、体力に応じたねらいを決め、ねらいに応じた体力を高めるための運動の内容や方法を決めたり、考えたり、工夫したりして、計画的に行うことができるものである。

以上のことを踏まえ、本単元では、児童一人一人の自己の体力向上のための実践力の育成を目指した。そのために「自己の体力を知る」「体力や運動の必要性を知る」「自己の課題を設定する」「課題解決の運動方法を知り、運動を選ぶ」「課題解決の運動に取り組む」といった学習過程の工夫を取り入れる。体力テストの結果を活用し、6つの運動の内容（柔軟性、敏捷性、筋力、持久力、瞬発力、投力）の中で、自分に必要な内容を考えることができるようにする。更に、6つの内容の運動の場を設けることで、児童が自分で課題に合った運動を選択し、活動を進めることができるようにしていく。これらの工夫を通し、児童が

今後、体力の向上に向け、計画的に取り組んでいくための基礎となる思考力・判断力を中心に育てたいと考えた。

外国語科 本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）において、以下のように位置付けられている。

外国語 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

エ 話すこと〔発表〕

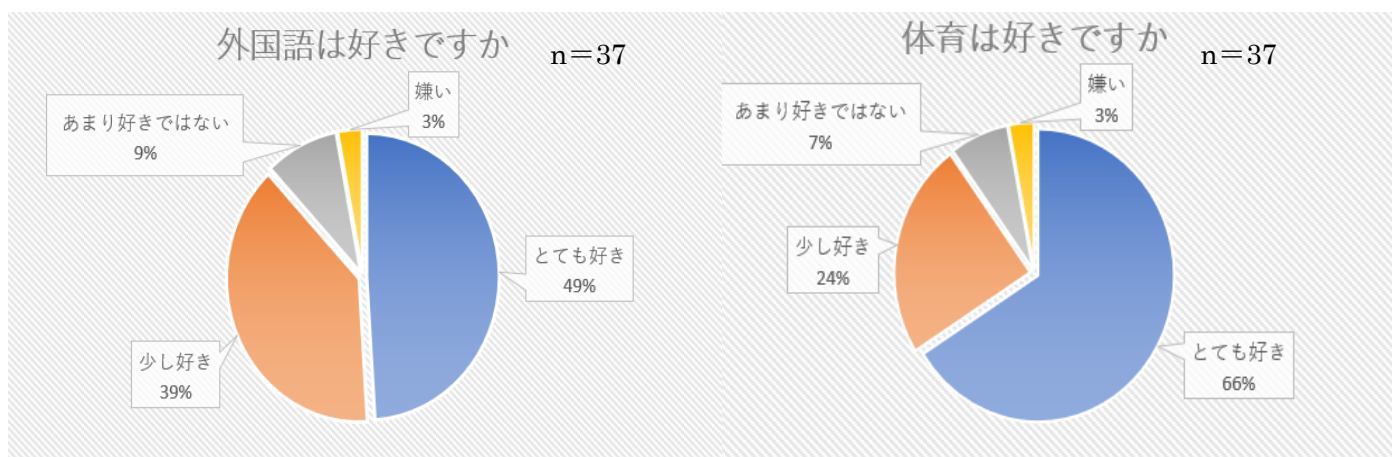
(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

この事項では、例えば、中学校生活への期待等を学級全体の前やグループの中で話す活動に取り組むことを示している。この活動においては、次のような発表が考えられる。

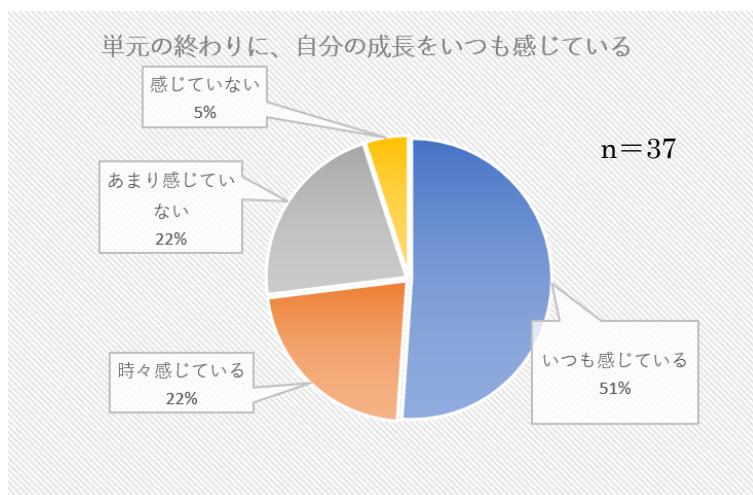
“ Hello, everyone. I want to join the badminton club. I like badminton very much. I want to make many friends. Thank you.”

この事項で扱う事柄は、「学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄」であるため、児童はそれらに対する自分の考えや気持ちを既にもっていたり、もたせやすかったりと思われる。一方で、全ての児童が自分の考えをもったり、それを伝えるための英語表現を言うことができるようになったりするための学習活動の時間を十分に確保することが必要である。また、「話すこと〔発表〕」の活動では、話すための準備や練習をさせ、児童が自信をもって話す活動に取り組めるようにする必要があるが個人差も大きいことが予想されるため、自分の学びを意識させる自由進度学習に適していると考ええる。特に、発音やイントネーションなどの音声に関する指導も ALT や ICT の活用をすることで可能になると考えた。3 月末の卒業を控えた巣立ちの時期であることを踏まえ、自分の未来への思いを伝える表現を学びながら、自身の将来を考える上でのヒントとなるように、将来どんな職業に就きたいかを理由とともに伝え合うことをねらいとしている。これまでの学習の積み重ねを糧にして、自信と期待をもって中学校に進む後押しとなるように指導する。

(2) 児童観



体育と外国語のどちらの教科も「とても好き」「好き」と感じている児童が85%を超えていた。また、「体を動かしたい」「外国語（英語）を使ってみたい」という活用することに意義を感じている児童については、90%を超えている。アンケート結果や教科担任制の実情を鑑みて、初めて 2 教科同時の単元内自由進度学習を行う教科として体育と外国語に選定した。



そして、「単元の終わりに、自分の成長をいつも感じていますか」という質問について、「あまり感じていない」「感じていない」と答えた児童は約27%いることになった。

このことから、高学年分科会では、自分から課題を見つけて課題に取り組み、振り返りを通して、自分の学んだことを実感し、自分の成長を感じられる児童を育てていく。

5 本単元の学習の関連と発展

体育科

校種	学年	体ほぐしの運動	多様な動きをつくる運動（遊び） 体力を高める運動	
小学校	1	体ほぐしの運動を 楽しむ！	多様な動きをつくる運動遊び	いろいろな動きを楽しむ！
	2		多様な動きをつくる運動	いろいろな動きを高める！
	3			
	4			
	5	体ほぐしの運動の		体力を高める運動に取り組む！
	6			
中学校	1	行い方を知る！	体力を高める運動	運動の計画に取り組む！
	2			
	3	組み合わせよう、構成する！		める運動
高等学校	1	実生活に生かす！	体力や生活の違いに応じて、計画を立てて取り組む！	
	2			
	3			

外国語科 文構造

LT1 U4 I like …/Do you like …?
LT1 U5 I like …/What … do you like?
LT2 U1、3、8 I like…
5年 英語で言ってみよう、L2、4 I like…
5年 L3 He/She is…
5年 L4 I can…
5年 L5 He/She is…/He/She can…/ I am good at…/He/She is good at…
5年 L7 I want to…
6年英語で言ってみよう I like…/I can…/I want to…/He/She is…

He is a soccer player.
I want to be an engineer.
I want to make robots.
I like soccer.
I can cook Japanese food.
What do you want to be?

6年 L7
I want to study (教科).
I want to join (部活動).
I want to …

6 目指す児童像に迫るための手だて

高学年分科会 目指す児童像

自分に最適な学びを 計画・実行できる児童

(1) 環境・教材の工夫

ア 場の設定（指導の個別化）

児童が自ら学びたいことを学べる場を設定する。

【体 育】体力テストに即して、6つの場（柔軟エリア・瞬発力エリア・筋力エリア・持久力エリア・敏捷性エリア・投力エリア）に分け、様々な観点から自分の苦手な分野を克服、または得意な分野をさらに高めるなど、児童が自由に選択できる場を設定する。

【外国語】オープンスペース、6年各教室、English ルームを活用し、領域ごとに学習しやすい環境を設定する。

オープンスペース（聞く）、6年1組（読む）、6年2組（話す）、English ルーム（書く）

イ 教具の工夫（学習の個性化）

掲示物やタブレットを活用することにより、自ら学ぶ児童を育てる。

【体 育】運動の内容によっては、苦手な児童も出てくる。特にボールを投げることや縄跳びは、児童によって得意・不得意がある。ボールの投げ方や縄跳びの跳び方の掲示物を貼っておき、常に自分から学べるようにしておく。タブレットは、推奨する動画サイトを見て動きを参考にし、自分の動きを動画で撮影し、フォームを確認するなど有効活用していく。

【外国語】聞く領域の課題については、教科書や学習ノートの二次元コードを読み込み、タブレットを活用して聞けるようにする。話す領域については、やり方を示した掲示物を用意し、書く領域については、職業の掲示物を中心に掲示する。また、話す領域については見取りがしにくいいため、単元の途中で教員やALT とスピーキングを行ったり、スライドに自分の音声を録音したものを提出したりして指導と評価を一体的に行う。

(2) 学習過程の工夫

ア 探究的な課題（以下、パワーアップミッション）の設定

パワーアップミッションを設定することにより、全ての児童が興味・関心をもてる問題を用意する。

【体 育】縄跳びでは、基礎的な技（前跳び・前あや跳びなど）から発展技（二十跳び・あや二十跳びなど）を設定する。タッチハイジャンプでは、様々な高さに手形を貼り、高さを追求させていくミッションを設定する。

【外国語】課題が終わった児童には、書く領域と話す領域のパワーアップミッションとして、単元の最後で将来の夢を伝え合わせる際に使うスライド作りを用意する。スライドには、英文と写真などを入れ、伝え合う際の補助資料として活用させる。また、チェックタイムテストを用意し、聞く領域と読む領域の補充を行う。

イ 振り返りの工夫（レーダーチャート）

毎回の振り返りをレーダーチャートでまとめる。レーダーチャートに表すことにより、得意・不得意が分かり、児童自身が苦手な項目を克服したい、得意な部分を更に伸ばしていきたいという効果を期待する。

【体 育】各種目を得点化し、毎回の活動の振り返りを可視化できるようにしていく。できた回数や秒数で得点が付くよう準備をする。

【外国語】オリエンテーションで各領域の現段階の自己評価を行う。そのための目安となる基準を掲示し、授業ごとに各領域の自己評価を行い、自分の力が伸びたかどうかを自覚させる。その際、なぜ伸びたのかどうかについて記述させる。

7 授業観察の視点

<環境の充実から>

○ 掲示物やタブレットの活用は、自分で学び方を考え、工夫することにつながっていたか。

<学習の過程の工夫から>

○ パワーアップミッションの設定は、児童の興味・関心を高め、自分の最適な学びにつながっていたか。

○ レーダーチャートを活用したマイプラン・シートは、児童が学びを振り返り、学びを調整することにつながっていたか。

時		1・2	3～5	6																		
形態		一斉	一斉 → 個別 → 一斉	一斉																		
目標		・学習の進め方を知り、見通しをもつことができる。 ・自分の得意な領域、苦手な領域を知り、学習の見通しをもって計画を立てることができる。	・自分や仲間の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。体力を高める運動のねらいや行い方を知るとともに、自分の体力に合った運動の行い方を選ぶことができる。	・自分や仲間の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりことができる。体力を高める運動のねらいや行い方を知るとともに、自分の体力に合った運動の行い方を選ぶことができる。																		
学習の流れ		1 学習の見通しをもつ。 2 自分の課題を確認する。 3 様々な動きの場を確認する。 4 自分の学習計画を立てる。	1 自分の計画を確認する。 2 準備運動 3 4分間走(一斉) ※毎回の授業で4分間走を行い、体力の向上を目指す。 4 マイプラン・タイム <table><tr><td>柔軟エリア</td><td>ストレッチ 棒を使って リンボー</td><td>○ストレッチはなかなか前に行かず、友達に押ししてもらう。ストレッチ後、長座体前屈に挑戦する。 ○棒を使った活動では、回転することは難しいが、棒を回して肩甲骨の周りの稼働率を向上させたい。 ○リンボーでは、ゲーム化して楽しみながら自分の限界に挑戦させたい。</td></tr><tr><td>瞬発力エリア</td><td>ゴム跳びぐるぐる タッチハイジャンプ</td><td>○ジャンプの仕方を工夫しながら、最短距離を考えて運動に取り組む。30秒間での記録に挑戦する。 ○壁に貼ってある手形にタッチする。どこまで届くか。</td></tr><tr><td>筋力エリア</td><td>肋木ぶら下がり</td><td>○肋木にぶら下がり、落ちないように耐える。何秒間ぶら下がるか。</td></tr><tr><td>持久力エリア</td><td>縄跳び</td><td>○30 秒間で何回跳べるか。 ※タイムキーパーは各自声掛けして行わせる。 ○あや跳び・交差跳び・二十跳びなど様々な技に挑戦させる、 →持久力・体感などを育てていきたい。</td></tr><tr><td>敏捷エリア</td><td>タッチコーン</td><td>左右のコーンを順番に触って走り抜ける →反復横跳びにつなげたい。</td></tr><tr><td>投力エリア</td><td>バトン投げ ソフトボール投げ</td><td>○バトン投げで遠くへ投げられるか、投げ方を練習する。 ○動画を見て、プロの投げ方をマネする。 ○野球を習っている友達に、遠くへ投げるコツを教えてもらいながら投げる。</td></tr></table> ※上記6つのエリアを一通り行った後、自分で選択して運動を行う。 5 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。	柔軟エリア	ストレッチ 棒を使って リンボー	○ストレッチはなかなか前に行かず、友達に押ししてもらう。ストレッチ後、長座体前屈に挑戦する。 ○棒を使った活動では、回転することは難しいが、棒を回して肩甲骨の周りの稼働率を向上させたい。 ○リンボーでは、ゲーム化して楽しみながら自分の限界に挑戦させたい。	瞬発力エリア	ゴム跳びぐるぐる タッチハイジャンプ	○ジャンプの仕方を工夫しながら、最短距離を考えて運動に取り組む。30秒間での記録に挑戦する。 ○壁に貼ってある手形にタッチする。どこまで届くか。	筋力エリア	肋木ぶら下がり	○肋木にぶら下がり、落ちないように耐える。何秒間ぶら下がるか。	持久力エリア	縄跳び	○30 秒間で何回跳べるか。 ※タイムキーパーは各自声掛けして行わせる。 ○あや跳び・交差跳び・二十跳びなど様々な技に挑戦させる、 →持久力・体感などを育てていきたい。	敏捷エリア	タッチコーン	左右のコーンを順番に触って走り抜ける →反復横跳びにつなげたい。	投力エリア	バトン投げ ソフトボール投げ	○バトン投げで遠くへ投げられるか、投げ方を練習する。 ○動画を見て、プロの投げ方をマネする。 ○野球を習っている友達に、遠くへ投げるコツを教えてもらいながら投げる。	1 自分の計画を確認する。 2 準備運動 3 4分間走(一斉) ※毎回の授業で4分間走を行い、体力の向上を目指す。 4 チーム対抗バトル ●6つのエリアにおいて、チームごとに一人ずつ得意な種目を行い、記録を競い合う。 ※各エリア得意な人の良い部分を見て学ぶ。 柔軟エリア …リンボー対決 瞬発力エリア …ゴム跳びぐるぐる対決 筋力エリア …肋木ぶら下がり対決 持久力エリア…縄跳び対決 敏捷エリア …タッチコーン対決 投力エリア …ソフトボール投げ対決 5 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。
柔軟エリア	ストレッチ 棒を使って リンボー	○ストレッチはなかなか前に行かず、友達に押ししてもらう。ストレッチ後、長座体前屈に挑戦する。 ○棒を使った活動では、回転することは難しいが、棒を回して肩甲骨の周りの稼働率を向上させたい。 ○リンボーでは、ゲーム化して楽しみながら自分の限界に挑戦させたい。																				
瞬発力エリア	ゴム跳びぐるぐる タッチハイジャンプ	○ジャンプの仕方を工夫しながら、最短距離を考えて運動に取り組む。30秒間での記録に挑戦する。 ○壁に貼ってある手形にタッチする。どこまで届くか。																				
筋力エリア	肋木ぶら下がり	○肋木にぶら下がり、落ちないように耐える。何秒間ぶら下がるか。																				
持久力エリア	縄跳び	○30 秒間で何回跳べるか。 ※タイムキーパーは各自声掛けして行わせる。 ○あや跳び・交差跳び・二十跳びなど様々な技に挑戦させる、 →持久力・体感などを育てていきたい。																				
敏捷エリア	タッチコーン	左右のコーンを順番に触って走り抜ける →反復横跳びにつなげたい。																				
投力エリア	バトン投げ ソフトボール投げ	○バトン投げで遠くへ投げられるか、投げ方を練習する。 ○動画を見て、プロの投げ方をマネする。 ○野球を習っている友達に、遠くへ投げるコツを教えてもらいながら投げる。																				
評価規準(評価の方法)	ア		・体力を高めるために自己の課題に合った運動を行うことができる。(観察、学習シート)	・基本的な動き(基になる動き)に取り組み、運動の仕方や工夫の仕方に基づいて正しく運動することができる。 (観察、学習シート)																		
	イ		・自分の体力から課題を知り、自分に合った運動を選んで表現している。(学習シート)	・どのような運動を行うと体力が高まるのか考え、自分に合った運動を選んで表現している。 (学習シート)																		
	ウ	・体づくり運動に進んで取り組もうとしている。(学習シート)	・場や用具の安全に気を配り、互いに協力して運動しようとしている。(観察)	・体づくり運動に進んで取り組もうとしている。(観察)																		

時		1	2～5	6																																												
形態		一斉	一斉 → 個別 → 一斉	一斉 → 個別 → 一斉																																												
目標		・学習の進め方を知り、見通しをもつことができる。 ・学習の見通しをもって計画を立てることができる。	・将来の夢について、職業やその職業に就いている人について伝える表現や就きたい職業とその理由を伝える表現、その職業に就いたらしたいことを伝える表現を身に付けられるようにする。	・就きたい職業など将来の夢を伝え合う活動をする。																																												
学習の流れ		1 グリーティング 2 学習の見通しをもつ。 3 自分の学習計画を立てる。	1 グリーティング 2 Sound Chant、Word Chant、Phrase Chant 3 自分の計画を確認する 4 マイプラン・タイム <table border="1"><tr><td rowspan="6">Part1</td><td>聞く</td><td>【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。</td></tr><tr><td>聞く</td><td>【Let's Listen】音声を聞いて、紹介されている職業の記号を書く。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Speak】My Dictionary を見ながら、職業あてクイズに答える。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Play】パノラマを見ながら職業あてクイズをする。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Talk】いろいろな職業の人を紹介し合う。</td></tr><tr><td>読む・書く</td><td>【Let's Read&Write】ジュンのあこがれの人の職業を伝える文を読む。職業を伝える文を書く。</td></tr><tr><td rowspan="6">Part2</td><td>聞く</td><td>【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。</td></tr><tr><td>聞く</td><td>【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物が就きたい職業で使うものを線で結ぶ。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Speak】パノラマを見ながら、将来就きたい職業を伝える。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Play】「就きたい職業あてクイズ」をする。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Talk】就きたい職業とその理由を伝え合う。</td></tr><tr><td>読む・書く</td><td>【Let's Read&Write】ミンの就きたい職業を伝える文を読む。就きたい職業を伝える文を書く。</td></tr><tr><td rowspan="6">Part3</td><td>聞く</td><td>【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。</td></tr><tr><td>聞く</td><td>【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物がその職業につきたい理由を線で結ぶ。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Speak】就きたい職業のことを思い浮かべながら、将来したいことを伝える。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Play】My Dictionary の「将来の夢を伝えよう」ビンゴをする。</td></tr><tr><td>話す</td><td>【Let's Talk】就きたい職業とその職業に就いたらしたいことを伝え合う。</td></tr><tr><td>読む・書く</td><td>【Let's Read&Write】ユミが将来したいことを伝える文を読む。希望の職業に就いたらしたいことを伝える文を書く。</td></tr><tr><td rowspan="2">Step-up</td><td>聞く・読む</td><td>【Let's Listen&Read】ユミの将来の夢についての発表を聞く、読む。</td></tr><tr><td>聞く</td><td>【Let's Listen】将来の夢についての対話を聞く。</td></tr></table> ※課題が終わった児童は、自分の将来の夢などを伝え合うときに使うスライドを作成する。【書く、話す】 ※課題が終わった児童に、チェックタイムテストを用意する。【聞く、読む】 5 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。	Part1	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。	聞く	【Let's Listen】音声を聞いて、紹介されている職業の記号を書く。	話す	【Let's Speak】My Dictionary を見ながら、職業あてクイズに答える。	話す	【Let's Play】パノラマを見ながら職業あてクイズをする。	話す	【Let's Talk】いろいろな職業の人を紹介し合う。	読む・書く	【Let's Read&Write】ジュンのあこがれの人の職業を伝える文を読む。職業を伝える文を書く。	Part2	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。	聞く	【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物が就きたい職業で使うものを線で結ぶ。	話す	【Let's Speak】パノラマを見ながら、将来就きたい職業を伝える。	話す	【Let's Play】「就きたい職業あてクイズ」をする。	話す	【Let's Talk】就きたい職業とその理由を伝え合う。	読む・書く	【Let's Read&Write】ミンの就きたい職業を伝える文を読む。就きたい職業を伝える文を書く。	Part3	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。	聞く	【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物がその職業につきたい理由を線で結ぶ。	話す	【Let's Speak】就きたい職業のことを思い浮かべながら、将来したいことを伝える。	話す	【Let's Play】My Dictionary の「将来の夢を伝えよう」ビンゴをする。	話す	【Let's Talk】就きたい職業とその職業に就いたらしたいことを伝え合う。	読む・書く	【Let's Read&Write】ユミが将来したいことを伝える文を読む。希望の職業に就いたらしたいことを伝える文を書く。	Step-up	聞く・読む	【Let's Listen&Read】ユミの将来の夢についての発表を聞く、読む。	聞く	【Let's Listen】将来の夢についての対話を聞く。	1 グリーティング 2 Sound Chant、Word Chant、Phrase Chant 3 本時のめあてを確認する。 4 【Let's Try】【話す】 就きたい職業などの将来の夢を伝え合う。 5 今日の学習を振り返り、マイプラン・シートに記入する。
	Part1	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。																																													
聞く		【Let's Listen】音声を聞いて、紹介されている職業の記号を書く。																																														
話す		【Let's Speak】My Dictionary を見ながら、職業あてクイズに答える。																																														
話す		【Let's Play】パノラマを見ながら職業あてクイズをする。																																														
話す		【Let's Talk】いろいろな職業の人を紹介し合う。																																														
読む・書く		【Let's Read&Write】ジュンのあこがれの人の職業を伝える文を読む。職業を伝える文を書く。																																														
Part2	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。																																														
	聞く	【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物が就きたい職業で使うものを線で結ぶ。																																														
	話す	【Let's Speak】パノラマを見ながら、将来就きたい職業を伝える。																																														
	話す	【Let's Play】「就きたい職業あてクイズ」をする。																																														
	話す	【Let's Talk】就きたい職業とその理由を伝え合う。																																														
	読む・書く	【Let's Read&Write】ミンの就きたい職業を伝える文を読む。就きたい職業を伝える文を書く。																																														
Part3	聞く	【Let's Watch】アニメーションを見て、ターゲット表現の音声、意味、どういう目的や場面で使うかに気付く。																																														
	聞く	【Let's Listen】音声を聞いて、それぞれの人物がその職業につきたい理由を線で結ぶ。																																														
	話す	【Let's Speak】就きたい職業のことを思い浮かべながら、将来したいことを伝える。																																														
	話す	【Let's Play】My Dictionary の「将来の夢を伝えよう」ビンゴをする。																																														
	話す	【Let's Talk】就きたい職業とその職業に就いたらしたいことを伝え合う。																																														
	読む・書く	【Let's Read&Write】ユミが将来したいことを伝える文を読む。希望の職業に就いたらしたいことを伝える文を書く。																																														
Step-up	聞く・読む	【Let's Listen&Read】ユミの将来の夢についての発表を聞く、読む。																																														
	聞く	【Let's Listen】将来の夢についての対話を聞く。																																														
評価規準（評価の方法）	ア		・将来の夢を表す語句や表現について、見本を見ながら書くことができる。（ノート） ・将来の夢を伝える語句や表現を理解している。（ノート） ・将来の夢を伝える語句や表現を読んで、その意味を理解している。（ノート） ・まとまりのある文章の中で将来の夢を伝える語句や表現を読んで、その意味を理解している。（ノート） ・絵を手掛かりにまとまりのある英語を聞いて、どの絵について話されているかを理解している。（ノート）	・将来の夢について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。（観察）																																												
	イ		・友達と応援し合うために、将来の夢を伝え合うことができる。（観察）																																													
	ウ	・学習の見通しをもって計画を立てようとしている。（観察）	・友達と応援し合うために、将来の夢についての具体的な情報を聞き取ろうとしている。（ノート、観察）																																													

